



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1998-'99

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 内藤 明人
事務所 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-3-25 ホテルキャッスルプラザ1402号室
TEL052-581-2020 FAX052-581-1133

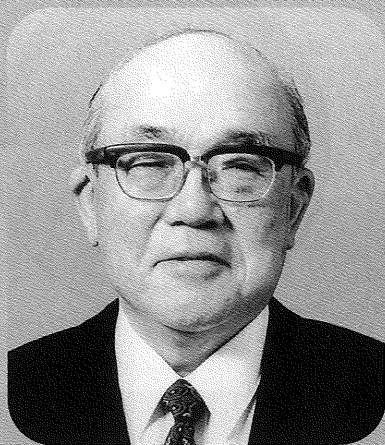


テレビやインターネットもいいけど本をゆっくり読むと
活字のむこうから"夢"がどんどん話しかけてくるの。
マンガ? もちろん夢の宝宝箱。

1999.3.20 No10

雑誌月間

本誌は、環境にやさしい再生紙を使用しております。



RCI.M.立春と 共に活発に開かれる

— 4月 は雑誌月間です —

1998～99年度 国際ロータリー第2760区

ガバナー 内藤 明人

梅・桃と美しい花は春を呼び、世の動きも活発になってきました。当地区のロータリー活動も2月6日の西三河分区I.M.を皮切りに、2月18日西名古屋のI.M.、2月20日は東三河I.M.、2月25日西尾張I.M.、2月27日東三河I.M.、3月6日南尾張I.M.とI.M.大会が活発に且盛大に開催されました。

夫々のI.M.が青少年問題、環境問題、厳しい社会経済問題等を取り上げられ、出席ロータリー会員に大いなる感動を与え、盛大に且成功裡に催されたことに、夫々のホストクラブ会長、実行委員長はじめ会員の皆様のご尽力に深く敬意を表します。

本年の当地区のテーマは焦点の一つである「新世代に光りを当てよう」を青少年問題として、有力講師のお話とかパネルディスカッションで取り上げて戴き、大変勉強になりました。また2月16日には、昨年11月の地区大会において、当地区RCから名古屋市へ青少年の為にとして寄贈した浄財を元に、名古屋市当局主催で公会堂において、PTA関係者2,000人を集め、青少年問題をテーマにパネルディスカッション（私もパネラーの一員として参加）を開いて戴き、大きな反響を呼びました。

さて、4月 は雑誌月間です。

日本の「ロータリーの友」は1953年1月の創刊以来、今年で46周年を迎えます。そして1980年にRI公式地域雑誌となり、1999年2月号で13万9000部となり、世界で2番目に多いロータリー誌であります。ちなみに1番は国際ロータリー機関紙であり53万部です。

ロータリーの友は、日本各地のロータリー活動の情報のみならず、世界のRC活動の情報もあり、またロータリー活動の奉仕と親睦についての論調から、日本文化の紹介等、読む者をして楽しくさせてくれます。

また、三年前からインターネットにもRIホームページが開設されました。<http://www.ROTARY.ORG>がロータリアンのアクセスを待っています。

我々は活動の基本となる情報をロータリアン誌で得て、更に充実した活動をしたいものです。

3月初旬には野村ガバナーノミニエがアナハイムにおける国際協議会から帰国され、ロータリーガバナーとして研鑽をつまられたものと思われ、第2760地区のロータリー活動で2000年にふさわしい新風が吹き込まれるものと大いに期待しています。

雑誌月間に寄せて

『ロータリーの友』はロータリアンの百科事典
「生涯の友」として行動の指針に…

地区ロータリーの友委員会委員長 種村 桂介

この4月は『ロータリー雑誌月間』です。

月刊誌『ロータリーの友』普及のための大切な月間です。

私も第2760地区の1996～'97松本宏ガバナーは、昨年4月号の『ロータリーの友』ガバナー座談会「あなたにとって『友』はどんな存在か」で司会を務められました。

この座談会の冒頭で松本バスターガバナーは「『ロータリーの友』は、ロータリアンにとってロータリーの“百科事典”であり、“教科書”“ガイドブック”はたまた“生涯の友”であります。『友』は、果たして、あなた個人にとってどんな存在意義があるのか、考えてみるのにも『ロータリー雑誌月間』はいい機会です」ときわめて明快に発言されました。

昨年度の故・犬飼栄輝バスターガバナーはニューリーダーシッププランを果敢に実行され、雑誌月間にあたっては、『知識とか情報は待っているだけで向こうからやってくる訳ではありません。やはりあらゆるチャンスと手段を活かして、こちらから取りに行くことが大切です。ロータリアンまで「活字バナレ」に巻きこまれないよう、日々新たな情報を得て、自分が楽しむ空間を更に広げるためにも「ロータリーの友」をぜひお読みいただきたい』と心こめ、ガバナー月信 '98. 3.20号に記されました。

いま、私たち日本のロータリーでは『ロータリーの友』がRI認定の唯一の公式地域雑誌となっています。『友』が創刊されましたのは1953年（昭和28年）1月です。

前年の昭和27年には日本が二つの地区に編成されるほど、戦後の荒廃の中でもロータリーは発展し、全ロータリアンを結ぶ共通の機関誌が要望され、『友』誌が誕生したのです。1980年（昭和55年）にRI認定を受け、公式機関誌『THE ROTARIAN』にかわって購読義務を代替できる資格を得たのです。

1990年（平成2年）にはRIから世界中の公式地域雑誌22誌の中で最優秀「グランプリ賞」をうけています。

創刊時は発行部数3,300部でしたが、46年後のこの今年、1999年1月号では14万部を超え、通巻553号を数えています。「THE ROTARIAN」の53万部にすぎ、世界で2位にランクされる公式誌です。まさにロータリーの諸先輩が、『友』創刊以来、営々として立派に育ててこられたのです。

『雑誌月間』にあたり、この永い歴史と諸先輩の努力に敬意の念を表そうではありませんか。

ルイス・ビセンテ・ジアIRI会長年度('96)は「先達の歩みに敬意を払うことによって未来を築こう」をプログラムの第一に掲げておられました。

さて『ロータリーの友』はいま、私たちロータリアンにとってどのような位置にあるのでしょうか。

ロータリー会員の三大義務（①会費を納めること。②例会に出席すること。③機関誌を読むこと。）のうちの重要な義務となっています。義務であるからといわれますと反発するのが通例ですが、「友」の購読と、そして編集への参加はロータリー会員の大切な権利でもあるのです。購読費は、年会費から支払われており、年間5億円余の予算で、ロータリーの友事務所によって総力をあげた編集業務が毎月行われているのです。

この素晴らしい『友』をいつも書斎の机の上に置き、隅々まで読み、生涯の友としてロータリーライフの基本を『友』から学び、いつも行動の指針としてゆこうではありませんか。

いま、内藤明人ガバナーのもと『ユーイズム：思いやりの心を広めよう』を合言葉に我が2760地区は生き生きと活動を展開しています。『雑誌月間』にあたりまして、①月初めの例会で雑誌委員長によって『友』の内容紹介がなされること。②『友』への投稿がこれまで以上になされること。③『友』のいっそうの充実のための意見提案が寄せられることを願っています。そして2760地区と全てのロータリー会員の諸活動がますます発展し、ロータリーの友情の輪が広がることを切望いたします。

西三河分区I.M.開催報告



西三河分区分区代理 池田 憲司

〈概要〉

テーマ 新世代に夢を
 開催日 平成11年2月6日(土)
 場所 衣浦グランドホテル
 参加者 376名(分区分員総数591名)
 特別出席者 内藤明人ガバナー
 福田浩三パストガバナー
 野村重彦ガバナーノミニー
 地区出席者 鈴木和雄地区副幹事
 内藤耕造次期地区幹事
 横井杲鈴次期ガバナー補佐
 伊藤隆男次期ホストクラブ会長
 ホスト 刈谷ロータリークラブ

〈内容〉

式典 内藤ガバナー挨拶及び参加者紹介
 第1部 基調講演／講師 名古屋大学教育学部
 蔭山英順教授「新世代に夢を」
 第2部 フォーラム パネルディスカッション
 新世代に夢を
 第3部 懇親会(立食パーティー)



内藤ガバナーの挨拶

▲西三河分区分区代理
池田 憲司挨拶

今回のI.M.では、「新世代に夢を」のテーマで新世代を代表して中学校の生徒指導担当の先生と男女の生徒をゲストに迎えて開催した。第1部は基調講演「新世代に夢を」と題して名古屋大学教育学部蔭山英順教授が講演した。教授は自ら描いた夢とそれをどう実現したかを話し注目を浴びた。更に

専門分野から、何不自由ない生活にも障害は紙一重、いつ障害に遭遇するか知れない。障害をもつ人達をよく理解して、人は1人1人が大事だという考え方で共存することを体得してほしいと話した。国際環境



▲講師蔭山英順教授

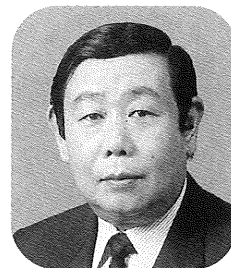
はボーダレスが浸透して、様々な枠や規制が緩和される中、環境破壊、情報過多など人が生きるに処理しきれない価値に情緒不安をも作り出した。今必要なことは大人がきちっとした価値観を教えることではないか。不安の意識、不満の意識、恥の意識、罪の意識を持たせると同時に遊離した心と体を結びつけていくことです。また自分が生物であることを知ることが、心の管理の1つであると結ばれた。最後にリラクゼーションの訓練で日常いつでもできるように身につけておけば、さらに人間関係の融和に役立つのではないか。

第2部フォーラム パネルディスカッションでは、通常のパネルディスカッションとは違い、特別参加者である生徒指導の先生と生徒が夫々質問する形でコーディネーターがパネラーを指名して進められました。質問は多岐に亘って、笑いを誘ったり、緊張したり、パネラーが返答に困って躊躇した一面もあり、和やかなうちに進み時間が超過するほどであった。特に印象に残ったことは大人のモラルの低下が様々な問題を起こしていることが指摘された。指導者としての役割を担うロータリアンは当然のこと、新世代を教育する先生はじめ

父兄に改めて貴重な教訓ではなかったか。今回のI.M.でパネルディスカッションに新鮮な風を送ったことと、いささかなりとも“新世代に夢を”の大きなテーマに資する点があれば幸いである。

▲パネルディスカッション
に参加する生徒

西名古屋分区I.M.開催報告



西名古屋分区代理 春日 良平

〈概要〉

開催日 平成11年2月18日(木) 16:00~20:00

場所 ヒルトン名古屋

参加者 403名

特別出席者 内藤明人ガバナー

盛田和昭パストガバナー

加納泉パストガバナー

神戸政治パストガバナー

野村重彦ガバナーノミニ

岡部快圓次期ガバナー補佐

小笠原和俊次期ホストクラブ会長他

ホスト 名古屋瑞穂ロータリークラブ

〈内容〉

第1部 式典

内藤ガバナー挨拶及び参加者紹介
講演

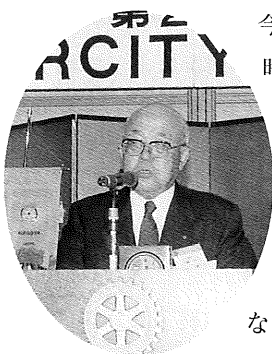
1.講師 神戸政治PG「ロータリーの夢の話」

2.講師 岩国哲人氏「全盲の走者」

第2部 懇親会 アトラクション「ジプシーハート」



◆インターシティミーティング



▲内藤明人ガバナーの挨拶

今から八年前、故中村ガバナーの時、IGFに変わってIMが登場した。名古屋瑞穂ロータリークラブはその第1回目のホストを務め、今年は第2回目のホストをやることになった。以前のIGFと異なった肩のこらない気楽な会とすべく、構成には大変気を

使った。

まず、第1部ではパストガバナーで、当地区研修リーダーの神戸政治さんに「ロータリーの夢の話」と題した講演をいただいた。今年度国際ロータリーのジェームス・レイシー会長のテーマは「ロータリーの夢を追い続けよう」である。そのテーマにそって夢について語っていただいた。



▲講師神戸政治パストガバナー

そしてメインの講演は前出雲市長としてあまりにも有名であり、現衆議院議員の岩国哲人先生に「全盲の走者」と題して講演をいただいた。岩国先生は現在の日本の政治、行政、経済について、先生が日頃考えておられることをいろいろな観点から述べられた。そして出雲市長時代に話が移り、先生が地方行政で出来ること、そして独特な手法を駆使されたことなど話された。特に全盲の人が出雲市で走るようになった時、その人をお手使いする人、伴走をする市の職員、ボランティアの青年、高校生のひたむきな、優しい奉仕にふれられた。そして、小学生の子供から感想文がとどき、「僕も大人になったら困っている人を手伝ってあげられる人になりたいと思います。あの伴走をした人達のように」と話されると、参加者の中には目頭をおさえる人も多くあった。

そして、最後に「最もよく人を幸せにする人は、最もよく幸せになる」と結ばれた。これこそまさに内藤ガバナーの云われるユーイズムに通じるところであり、ロータリーの精神である。



▲講師岩国哲人氏

第2部は本場スペインのフラメンコショーを楽しみながら大いに親睦を深める会食となった。

皆様方のご協力に感謝申し上げます。

東三河分区I.M.開催報告



東三河分区代理 来本 吉郎

〈概要〉

開催日 平成11年2月20日（土）13：25～17：30
 場所 クラウンプラザ豊橋
 参加者 530名
 特別出席者 内藤明人ガバナー
 高沢隆パストガバナー
 宮地信尚パストガバナー
 石川和昌パストガバナー
 野村重彦ガバナーノミニー
 岩間俊夫地区幹事 児山國男地区副幹事
 鈴木省三前東三河分区代理
 石黒坦史次期東三河ガバナー補佐
 内藤耕造次期地区幹事
 三ツ松芳隆次期地区副幹事
 大澤輝秀次期ホストクラブ会長
 ホスト 豊橋北ロータリークラブ



▲来本分区代理挨拶

〈内容〉

オープニング 13：25～13：30

開会に先だって地元豊橋出身の声楽家草場愛子さんのメゾソプラノ独唱によるシューベルトの菩提樹を湯浅加奈子さんのピアノ伴奏で独逸語で歌われるとその美声と清楚な姿は会員一同満場の拍手を送った。ガバナー、PGからもおほめを賜った。



▲内藤ガバナー挨拶

本会議は、総合司会を伴實・牧野早希子（豊橋北RC）のコンビにより女性会員の登場もあり、ソングリーダー西村良彦、ピアノ伴奏三井盛三会員よりロータリーソング、そして点鐘・黙想につづき次期会長佐野峯雄の開会

のことばについて来本分区代理より、東三河は一つで、穂の国の13RCは奥三河から渥美まで豊川水系の広域経済圏として交流を深め意義ある会にしたいと挨拶があった。

ホストクラブの村上会長は、21世紀を間近にして困難な環境の中でロータリーの心を夢の実現に向けて研修と親睦を深めたい。と歓迎の言葉をのべ、内藤ガバナーは改めてRI会長のテーマであるロータリーの夢を追い続け、本年度はユーイズムを広め、新世代に大いなる光を照らし、奉仕の実感を共有しようと公式訪問を肌で感じ、感銘を受けられた事などを会員に熱い情熱をもって話かけられました。

講演会は、西部邁氏による「日本文化に成熟はあるか」のテーマで激動の20世紀末における日本はどう進むべきか。現代日本社会を都市と環境政治と政府のあり方、国益とは何か、公共性と国づくりに心をもって考え、次の世代に夢を託したいと示唆をいただいた。多角的視野からの指摘は、ロータリー会員に時間を忘れて感銘を与えた。

懇親会は、小林実行委員長のアイデアにより特別参加者と13RC会長は、赤の陣羽織に名前入りの提灯をもって柏子木によって入場



▲陣羽織に提灯の特別主席者と13RC会長

し、三井会員と仲間達によるバンド演奏によって盛会裡に終了。最後まで多数の会員が手に手つないで会場を盛り上げたのが印象的であった。



▲手に手つないで

（終了は17時30分）

チェンマイWCS 活動視察報告

地区世界社会奉仕(小)委員会委員長
岡田 邦弘



’98-’99年度当地区のWCS活動の一環として、2月4日～7日の4日間タイ3360地区のチェンマイ、ピサヌローク、スコタイの3地区を訪問して各RCが推進する活動プロジェクトを視察するとともに、2760地区からのWCS活動資金の目録を贈呈して来ました。(資金は事前に送金済)

今回の視察団には、杉浦三郎地区国際奉仕副委員長をはじめ、地区内11クラブより総勢31名もの多数の会員及び家族の方に参加して頂きまして、各クラブのご協力に心より感謝申し上げます。

WCS活動視察旅行の目的は、訪問先の地域住民の生活環境を理解する事と、RCの活動プロジェクトを視察する事により、我々の贈った貴重な資金が適正かつ有効に活用されているか確認する事です。それともう一つには、訪問先RCメンバーとの友好を深める事です。

視察団一行は、2月4日夕刻チェンマイ

空港に到着、第3360地区Dr. Siritworn ガバナー、Dr. Sumin WCS委員長をはじめ各RC会長、会員多数の熱的な歓迎を受けました。

▶ドネーション 目録贈呈



2月5日(金) WCSチェンマイ視察先

① RC OF CHIANGMAI NORTHのプロジェクト DOISAKET村の学校 BAN PONGKLOMへ訪問

村の教育は低く、その為図書館を建設しています。1998年に建物は完成しましたが、テーブル・イス・本などはまだまだ不足しています。

② RC OF CHIANGMAI NORTHのプロジェクト WAT WAYRUWANの小学校 WHITE SCHOOLへ訪問

運動場を整備して、そこでスポーツと親しむことによって麻薬から子供達を守りたいと考えています。

③ RC OF HANG DONGのプロジェクト AMPHUR HANG DONGの小学校へ訪問

生徒達は、にわとり・魚に餌を与え、野菜を栽培しそれを市場で売る事により、子供達は農業を学び、それで得たお金は貧しい子供達の昼食の援助や基金に使われる予定です。

④ RC OF CHIANGMAI PHUPINGのプロジェクト AMPHUR SANPATONGの幼稚園 WAT DON POAへ訪問

子供達の為に運動場を整備し、そこに芝を植えたり、フェンスや照明設備を設置しています。しかし、まだまだそのような設備は不足しています。

⑤ RC OF LANNA CHIANGMAIのプロジェクト 山岳民俗の為の学校 BAN SOB KABへ訪問

両親がタイ中出稼ぎに行ってしまう山岳民族の為の学校で、その学校は調理訓練のための建物を建て、そこで料理された物は貧しい子供達の昼食の援助に使われる予定です。

2月7日(日) WCSピサヌローク視察先

① RC OF NARASUAN, D3360 AND PHITSANULOK のプロジェクト

NARESUANの職業訓練コースの見学

タイの経済危機の為、多くの人が職を失い、子供達も勉強が続けられなくなっています。そういう人達の為にさまざまな職業訓練コースをもうけています。

② RC OF PHISANULOKのプロジェクト

BAN MA KHAM SUNGの調理職業訓練コースの見学

生徒達や人々は調理を学ぶことによって彼らの生活の改善や生きる知識を得られます。又、訓練の間でも作った料理でお金を稼げる機会も得られます。

③ RC OF PHISANULOKのプロジェクト

職業訓練学校 RAJAPAK COLLEGEへ訪問

たくさんの人々がそれぞれのコースで学んでいます。特に精巧な造花を作るコースは市場の需要が高いので追加のお金も得られます。

④ RC OF SUKHOTHAIのプロジェクト

SUKHOTHAI高等学校へ訪問

学校の水は、くさい臭いやたくさんのちりを含んだ汚い井戸から得ています。子供達がきれいな水を使えるようにする為に水の浄化装置と清潔な貯水タンクを設置する予定です。

2月5日夜、第3360地区ガバナー主催にて歓迎パーティーが開催され、その席上で第2760地区内藤ガバナーのメッセージを代読し、各クラブの会長へWCS活動資金目録を贈呈致しました。視察団一行と第3360地区会員は、歓談したり、一緒にダンスを踊ったり、記念撮影をしたりして両国RCの友好と親睦を深め、最後に全員輪になって日本側のリードで「手に手つないで」を合唱し、いつまでも握手をしたり、肩をたたき合いました。

今回の視察は、小中学校等の教育環境の整備充実と、職業訓練施設の整備充実プロジェクトが中心でしたが、日本と比べるとまだまだ発展途上で今後共第2760地区のWCS活動による支援の必要性を感じました。

視察団一行に参加頂きました方々が、見たまま感じたままを、各クラブで報告して頂き、WCS活動が更に理解されます事を心より願います。

▼BAN MA KHAM SUNG
の調理職業訓練コース
の見学



▲NARESUANの職業訓練コースの見学



地区RCC全体会議 開催の報告

日 時／1999年2月11日（祝）14：00～18：30
場 所／ホテルキャッスルプラザ
ホ ス ト／地区RCC（小）委員会
会場運営／名古屋守山RC有志会員



地区RCC（小）委員会委員長 川井 健司

プログラム

- ☆ 受付・登録 13：30～14：00
- ☆ 本 会 議 14：00～17：00
 - ・ 開会宣言《司会進行》-----
2760地区RCC（小）副委員長 河村 八郎
 - 特別出席者紹介
 - ・ 点鐘・黙想20秒間-----
2760地区RCC（小）委員長 川井健司
 - ・ 委員長あいさつ
 - ・ ガバナーあいさつ-----
2760地区ガバナー 内藤明人
 - ・ 各提唱クラブ報告（7クラブ×5分間）-----
RCC提唱各クラブ代表
 - ・ 地区委員会報告及び質疑応答
- ☆ [RCC隊員入場]
 - ・ RCC隊員紹介-----
2760地区RCC（小）委員 遠藤正昭
 - ・ 各RCC現況報告（7RCC×8分間）-----
各RCC代表
 - ・ 地区社会奉仕委員会カウンセラー講評-----
パストガバナー 石川和昌
 - ・ 閉会宣言----- 河村 八郎
 - ・ 点 鐘----- 川井健司
- ☆ 懇親会（立食）17：10～18：20
〈司会進行〉-----
2760地区RCC（小）委員 前田捷彦
 - ・ 開会あいさつ-----
地区RCC（小）委員会カウンセラー 市田弘治
 - ・ 乾 杯----- 2760地区中三河分区代理 村野力男
 - 《食事／懇談》
 - ・ 中 締 め-----
2760地区RCC（小）委員 平松富治
 - ・ 閉会宣言----- 前田捷彦

- ・ 特別出席者：内藤明人ガバナー、石川和昌パスト
ガバナー、村野力男中三河分区代理、
岩間俊夫地区幹事、田中義一地区副幹事、
花井文雄地区社会奉仕委員長、市田弘治
地区RCC（小）委員会カウンセラー
- ・ 地区内76クラブより代表1名づつ
（社会奉仕委員長またはRCC委員長）
- ・ 地区内のRCC 7チームより隊員代表3名
以上参加者合計 120名余。



▲石川PG講評



▲内藤ガバナー挨拶

本会議で内藤ガバナーが「RCC活動は、ロータリー活動の本質をつくものであると思う。ボランティアによる福祉活動や教育、スポーツによる青少年の健全化のために、地域の人々と一緒に手を差し伸べて活動するところに尊さがある。資金援助だけでなく、心と体をもって奉仕することに意義があると思う」とあいさつされました。

次いで7つの提唱クラブ（豊橋・半田・豊橋ゴールデン・名古屋守山・岡崎東・常滑・安城）から結成当時の状況説明があり、このあとの質疑応答では、活発な意見交換がありました。

会議の後半にはRCCの隊員も入場参加して、7チームの各代表より活動報告がありました。

最後の講評では、石川パストガバナーが「ロータリアンは職業を持っているので、奉仕活動に専念するわけにはいかない、自ら限界がある。それ故に地域の人々に、ロータリーを理解して頂き、奉仕活動を拡げて行くには、RCCが大きな力となる。もっと積極的にボランティア活動をしている人々を広く求めて、より多くのRCCを結成する必要があると思う」と述べられました。

会議終了後の懇親会（立食）では、ロータリアンとRCC隊員との交流、親睦を深めることが出来ました。今回の全体会議は、地区行事としては初めてのことでしたが、参加の皆さんの絶大なご協力によって盛会裡に終ることが出来ました。ありがとうございました。



第2回ロータリー財団 合同委員会（報告）

地区ロータリー財団委員会委員長 矢島 茂

日時／1999年1月31日（日）
11:00～13:00
場所／毎日ビル9階国際サロン

内藤ガバナー、福田次期ガバナーノミニーに財団ご担当の田中西尾張分区代理、藤本地区副幹事、前田次期地区副幹事をお迎えし、ロータリー財団、財団奨学金、財団学友会、ポリオ・プラス、研究グループ交換の5委員会の委員長はじめ委員総員19名が出席しました。会議に先立ち、内藤ガバナーと福田次期ガバナーノミニーのご挨拶と前田次期地区副幹事から次年度財団5委員会編成と名称変更の発表をいただき、次の議題について審議に入りました。



議題1. ロータリー財団地域セミナー

12月3日、ホテルナゴヤキャッスルにおいて、アジア第1～4ゾーンのセミナーが開催され、1998-’99年度日本全国のDDFの配分は、教育的分野に94.72%使途され、人道的分野への配分を多くするよう指導された。

議題2. 2000～2001年度DDFの配分

12月10日、1997-’98寄付年度のDDF USドル503,717.09の配分について審議の結果、人道的分野50,000ドル、教育的分野408,000ドル、プログラム強化分野1,000ドル、他地区への寄贈25,000ドル（タイ国3360地区）へ配分し、未配分額を

19,717.09ドルのワークシートをRI財団本部へ郵送しました。この結果、今年度国際親善奨学生は、1学年12名、マルチ2年6名を募集します。

議題3. 地区ロータリー財団セミナーの開催

2月4日、ホテルキャッスルプラザ開催の運営と予算について打ち合わせ。

議題4. 受入・派遣財団奨学生の現況

今年度受入れは、3名で10月に3ヶ月文化研修セルジオ・ナカソネ君をサンパウロから、1学年奨学生朴英璇さんを韓国から受入れ、この3月にジャパン奨学生を受入れることになっていること。派遣は候補者20名中7名の辞退者が出たこと。これはロータリー財団国際親善奨学金の理解が十分でないことが主要因であり、選考に当たって本人の意志を十分確かめるようにする。

議題5. 各(小)委員会の活動報告

三浦財団奨学金委員長、白井財団学友会委員長、酒井ポリオ・プラス委員長並びに松前GSE委員長から活動報告と今後の行事について報告されました。

以上、内藤ガバナーのご助言を得て、有意義な合同委員会会議を終了しました。



1998～'99年度 地区ロータリー財団セミナー開催

日時／1999年2月4日（木） 14:00～16:40

場所／ホテルキャッスルプラザ4F 鳳凰の間

地区ロータリー財団委員会委員長 矢島 茂

今年度のセミナーは、内藤ガバナーのご指導の下、野村GN、福田GN、分区代理、地区幹事、地区財団役員各位とともに地区内76全クラブから総員172名のご参加をいただきました。

尾関財団副委員長の司会により、黙想・来賓紹介・ガバナーの歓迎の辞、ガバナーノミニの挨拶をいただいでから、次の進行順序でセミナーが行なわれました。

配布資料は、セミナー用レジメ・1997年度ポケット型統計カード（159JA）を全員に。事務所保管用にレジメ・1998年版マイフレンド・2000～2001年度国際親善奨学金申請書（139JA）・国際親善奨学金パンフレット（132JA）。

セクション1：矢島財団委員長からロータリー財団の使命とその歴史、シェア・システム、財団への寄付と現況、財団の財務について

セクション2：三浦奨学金（小）委員長から国際親善奨学金制度、奨学生派遣までの手順、奨学金プログラムの目標について

セクション3：白井学友会（小）委員長から学友会の現況、財団学友の重要性、スポンサークラブ（カウンセラー）の役割について

セクション4：酒井ポリオ・プラス（小）委員長からポリオ・ウィルスとは何か、ポリオ・ワクチンとは何か、ポリオとの闘い、ポリオ・プラス活動の成果について

セクション5：松前GSE（小）委員長から研究グループ交換とは、ブラジル4430地区とのGSEの成功と報告書の配布、1999～2000年度GSEの概要について

それぞれ配布資料に基づいて説明を行ってから質疑応答の時間を設けました。その内容は

質問1；財団の寄付はロータリーレートによって寄付額が変動するが、円の一定額、例えば12万円です。ポール・ハリス・フェローの認定を受けるようにならないか。

（回答；ロータリークラブは、それぞれ国際ロータリーに直接加盟しているものであり、国際ロータリー本部への送金はすべてドルベースとなります。）

質問2；財団の財務について収支決算の説明を納得できるように説明していただきたい。

（回答；ロータリー財団本部は、ロータリー財団年次報告書を発行しており、地区事務所にご連絡下さり、ご覧いただきたいと思います。）



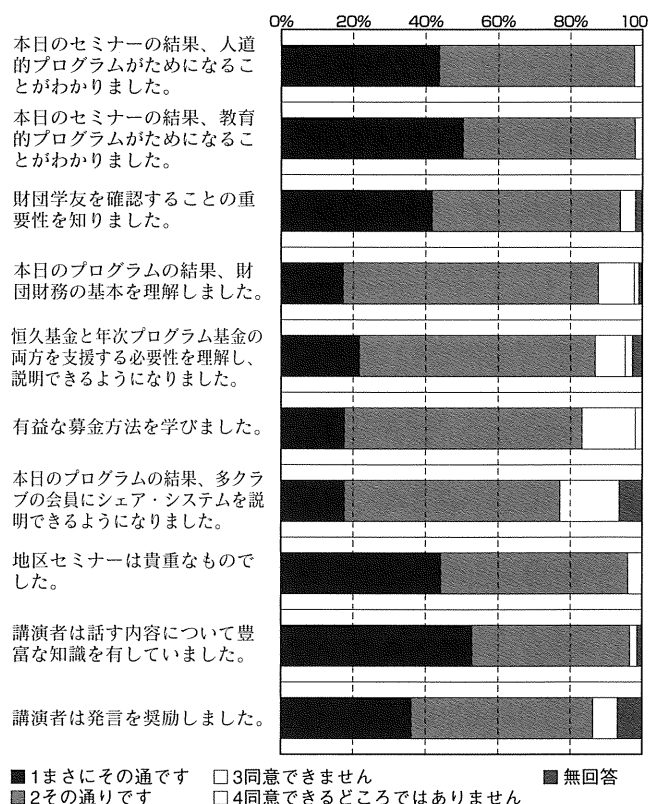
質問3；財団への寄付金の免税について米国のように日本でも免税にしてみたい。

（回答；教育的プログラムへの30万円以上の寄付が免税になるまでに日本のロータリーは永年税当局と交渉してきたが、更に免税措置を進める努力をすると聞いています。）

午後4時30分、内藤ガバナーからご講評を賜わり、地区ロータリー財団セミナーを盛会裡に終了することができました。

今回のセミナーのアンケート ①まさにその通り ②その通り ③同意できない ④同意できるどころでない、の10項目の回答結果は表のとおりでした。その他多くの貴重なご意見を寄せられましたことに感謝し、来る5月8日の地区協議会のロータリー財団分科会に生かさせていただきます。ありがとうございました。

地区ロータリー財団セミナー アンケート集計結果 （集計数101件）



ロータリー財団国際親善奨学生からドイツ人のリサイクルへの姿勢についてのレポート

1998～'99年度 1学年度国際親善奨学生

河本 七帆子

留 学 大 学： カールスルーエ国立音楽大学

専 攻： 声楽

スポンサークラブ： 名古屋名東ロータリークラブ



▲大学の教授と一緒に（スカーフをしているのが河本さんです）

私がドイツに来てまず思ったことが徹底したリサイクル精神。これには本当に頭が下がります。というかゴミの島までできてしまう日本に恥ずかしささえ感じてしまいました。各家庭には3種類の大きなゴミのBoxがあり、生ゴミ、再生可能ゴミ、再生不可能ゴミとなっており、それぞれ入れわけ、ペットボトルや水の入

っていたガラスビンを買った店に返しにいき、代わりに代金を受け取る。ワイン等の色



▲缶牛乳パック、プラスチック用ごみBOX

つきビンは町中にある大きなコンテナに各自持っていき入れる。（これもガラスの色ごと）使い古した靴も町中のコンテナに。そして買い物の際は各自袋を持



▲家にあるゴミBOXです。

っていく。（持っていない場合は袋を買う。もっともスーパーやデパートではビニールの袋に入れてくれる。）

そして粗大ゴミは1年に2度路上に前日の夜までに出しておく翌朝大型トラックが崩しながら持っていく。この前の日が面白い。掘り出し物はないかと多くの人が懐中電灯を持ってゾロゾロ路上見学。初めて目にしたときは一体何をしているのかと。でも、この路上見学の人達のお陰で、粗大ゴミは半分以下になるのです。全くよく出来ていると感心しま



▲KöLNという都市のビン回収箱

した。そしてこれに

も感心したので

すがSper Müllと

いうリサイクル

新聞が週1度で

るのですが、何

から何までリサ

イクルです。売り

たい人の欄、買いたい人（求めている人）の欄が各項目ごとにあり、電気製品でも、家でも、家具でも、本

当に何でも。私の知人も

この新聞で家さがしを一

生懸命やっておりました。

▼スーパーマーケット内にあるビン回収箱



▲町で新しく見つけた繊維製品を入れるBOXです。



委員会報告

地区ローターアクト (小)委員会報告第4回委員会

日時／1999年2月1日（月）
場所／地区事務所



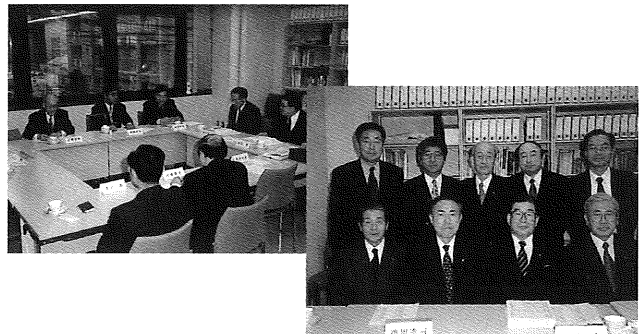
地区ローターアクト(小)委員会委員長 石川 敬

去る2月1日（月）、午後4時より地区事務所にて、今年度第4回目の委員会を開催しました。委員会には、ガバナー事務局より池田分区代理（担当ガバナー補佐）、鈴木担当副幹事が出席されました。会議議題は主として、内藤年度における前半のローターアクト諸活動の総括と後半の諸計画について協議した。

会議に先立ち、池田担当ガバナー補佐、鈴木担当副幹事よりそれぞれ挨拶があり、続いて後半トップの最重要行事であるRAC海外研修にロータリアンとして研修同

行の舟橋委員（小牧RC）より出発の挨拶が行われた。（他に岡崎RC藤井委員同行）

ローターアクト活動の後半は別添諸行事計画予定表のとおり重要行事（2/3-9＝海外研修、2/21＝江南RAC20周年記念式典、4/11＝RA地区親睦行事、5/8-9＝RAC地区年次大会、6/19-20＝RA地区指導者研修会）が多く開催される計画であり、委員各位のご協力、ご支援を強く要請すると同時に、加えてガバナー事務局側の強力なご指導、ご鞭撻を池田・鈴木両氏に要請する。



記念例会報告

豊川ロータリークラブ創立 40周年記念例会

日時／1999年2月6日（土）
場所／オーエスジー（株）CSセンター

豊川ロータリークラブ幹事 岩瀬 淳一郎

大澤秀雄初代会長以下、20名の方々が豊川の地にロータリーの火を灯されてから、40年の歳月が流れました。この間幾多の会員がロータリーの奉仕の理想を具現すべく、努力を続けてこられました。そうした歴史の流れの中で、豊川ロータリークラブは5年毎に、規模を拡大した記念例会を開催し、地域社会に対し、その時期にあった記念事業を行ってまいりました。今回、創立40周年にあたり会員全員の意見の集大成を旗印にアンケート、意見交換の結果、右記の事業を実施いたしました。



▲記念式典での会長挨拶

1. 豊川市立図書館にモニュメント建設資金贈呈
 1. 宝飯4町ゴミ減量運動推進費贈呈
 1. 豊川リサイクル運動市民の会に“マイバッグ”贈呈
 1. RI第2760地区ロータリー財団、米山記念奨学会寄付
- 今回の記念例会は、世はニューメディアの時代であることから、OSG(株)の新装されたCSセンターの設備を利用させていただき、映像を駆使したプログラムを試みました。

40周年記念例会を出発点とし、81名の会員は手と手をつないで新たな歴史の中に歩みだします。



◀豊川市へ目録贈呈

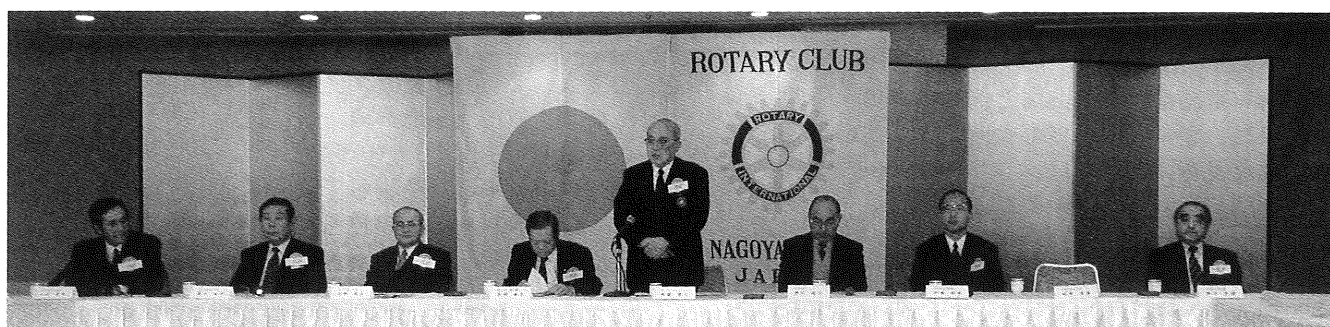
▶昼食会での歓談風景

第2回 地区委員会委員長会議開催

日時／平成11年1月29日（金）17：00～

場所／ホテルキャスルプラザ3階孔雀の間

地区副幹事 鵜飼 治昭



出席者：内藤ガバナー・神戸地区研修リーダー・
各分区代理・岩間地区幹事・各委員長・
各副幹事・会計長・地区補佐

地区活動の中核を構成している地区委員会の本年度前半の各地区委員会の事業活動報告と今後の活動方針についての確認を行った。

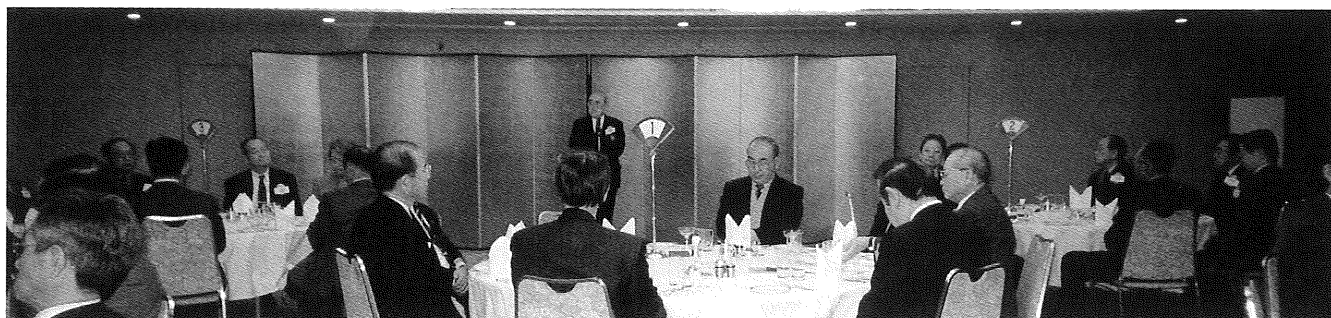
初めに内藤ガバナーから「前年度、犬飼直前ガバナー（故人）によって確立されたニューリーダーシッププランにより公式訪問を順調に終えることができた。各クラブの活発な活動はメンバーはじめ各分区代理、各地区委員会委員長のご尽力のおかげで、後半もよろしくご協力をいただきたい」との挨拶があった。続いて



神戸地区研修リーダーは「本年度のR Iのテーマは“ロータリーの夢”であるが、“夢”にはいろいろな解釈がある。突き詰めれば内藤ガバナーの提唱されている「ユーイズム」に尽きる。“ロータリーの夢”を今一

度思い直して、目標に向かってほしい。」と述べられた。議事は、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年活動・ロータリー財団・米山奨学の各地区委員長から事業計画が順調に遂行されているとの報告があった。

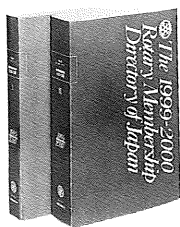
続いてWCSの現況報告で、“フィリピンへの支援中断、タイへの支援継続、インド・ブラジルへの仮設住宅建設の支援を行っている”と発表された。また地区資金支出状況の報告および昨年12月20日に県内中学生約400人を集め産業技術記念館で行われた「青少年物づくりの体験」について坂本委員長より関係者のみなさんに感謝の意がのべられた。最後に岩間地区幹事より「皆さんのご尽力で順調な運営ができていていることに、お礼を申し上げたい。本年度のガバナー賞には、各委員長のご指導では非挑戦をしていただきたい。また近く始まる各分区のIMをぜひ成功させてほしい。また現在の「分区代理」の名称が次年度から「ガバナー補佐」になる動きがある」と報告があり、ニューリーダーシッププランの一層の確立を示唆した。



1999-2000年度版 全日本ロータリークラブ会員名簿及び ロータリー手帳のご案内

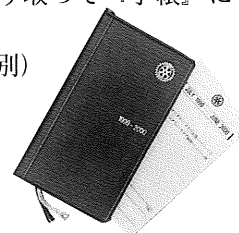
〈会員名簿〉

- 1.全国34地区、全ロータリークラブ事務所の住所・電話番号・例会場と例会の曜日・時間。
- 2.会員の事業所、自宅の住所・電話番号、職業分類などを詳細に記載。
- 3.索引があり、検索が簡単。クラブを探す場合には、ABC順、会員を探す場合には、あいうえお順。
- 4.1組 8,000円（消費税、送料別）
- 5.8月中旬頃出来上がり予定。



〈ロータリー手帳〉

- 1.全国34地区ガバナー名、ガバナー事務所の住所・電話・ファックス番号、ロータリー関係の事務所一覧、地区大会の予定などを収録。
- 2.ロータリークラブ定款・細則を小冊子にしてセット。
- 3.『ロータリーの友』7,10,1,4月号に挿入されている「例会一覧表」は、切り取って『手帳』に入れて持ち歩けます。
- 4.1部 600円（消費税、送料別）
- 5.5月下旬出来上がり予定。
クラブ事務局を通じて、
ロータリーの友事務所
までお申し込みください。



ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc会館8階
TEL 03-3436-6651 FAX 03-3436-5956

物づくりの体験に参加して

稲沢RC青少年奉仕委員長 猪子 正

12月20日(日)産業技術記念館において、新世代の育成「青少年の物づくりの体験」が行なわれ、地区内325名の生徒が参加しました。稲沢RCからは、岡田青少年奉仕副委員長と私の引率で、稲沢中学校2年長橋優君・橋本有祐君、同中学校1年野口智君・大隣輝君・末吉清政君の参加をいただきました。その体験記をお伝えします。

体験記

稲沢中学校 2年 長橋 優

先日、僕は物づくりの体験に参加してたくさんのことを学びました。その中でもいちばん勉強になったことは、繊維機械の技術で、昔の人の苦労や現在のコンピューターでの先端技術などです。テクノラ

ンドでは、楽しみながら学ぶのがとてもよかったです。午後の物づくりでは、「目の光る動物を作ろう」ということで、てこずりながらも、友達に聞いたり、ロータリアンの人に聞いたりして、なんとか時間内に作り上げることができました。自分で作り上げたときの喜びはとてもいいものでした。

僕はこの体験に参加して本当によかったと思います。知らず知らずのうちに知らない生徒と話しをしていたり、またいつしよに参加した友達ともいつそ

う親しくなった
と思いました。
お世話になった
ロータリアン
の人に心をこめて
お礼をしたいと
思います。



新ポール・ハリス・フェロー12月分

氏 名	所属RC	氏 名	所属RC
服部 英男 (岡 崎 南)		鈴木 啓允 (岡 崎 東)	
本間 毅 (岡 崎 南)		植田 喬治 (岡 崎 東)	
渡辺 要市 (岡 崎 南)		西村 雄司 (岡 崎 東)	
伊藤 太助 (名古屋西)			

氏 名	所属RC	氏 名	所属RC
月東 紀明 (岡 崎 東)		末岡 脩 (名古屋昭和)	
橋本 義紀 (岡 崎 東)		加藤 靖 (名古屋昭和)	
佐藤 鎭二 (名古屋昭和)		渡辺 直樹 (名古屋昭和)	

第4回地区諮問委員会議事録

日時／1999年1月23日(土) 11:00～13:30

場所／ホテルキャスルプラザ

<報告事項>

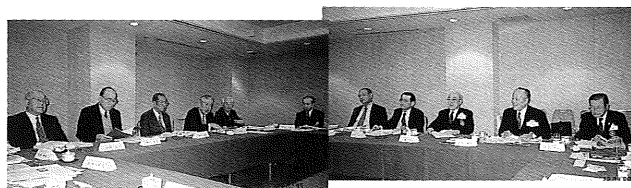
以下の議題全部につき配布資料のとおり報告された。

1. 1998～'99年度地区大会報告について
(登録者数)
ロータリアン 2,500名
ゲ ス ト 132名
合 計 2,632名
(参加者数)
第 1 日 目 845名
第 2 日 目 1,976名
夕 食 会 340名
2. 1998～'99年度超我の奉仕賞受賞者について
3. 1998～'99年度ロータリー研究会報告について
4. 米山奨学生の選考について
5. 地区資金予算執行状況について
6. DDF選択会議について
7. 地区主要行事日程について (1月～3月)
8. バングラデシュ義援金について
9. その他

<協議事項>

以下の議題全部につき配布資料記載の原案のとおり確認された。

1. 1999～2000年度地区予算(案)について
2. 1999～2000年度地区役員及び委員(案)について
財団法人ロータリー米山記念奨学会理事
加納 泉PDGに決定
3. 1999～2000年度会長エレクト研修セミナー(PETS)について
4. 1999～2000年度地区協議会開催要綱(案)について
5. 1999～2000年度地区協議会分科会指導者(案)について
6. 1999～2000年度地区大会について
7. 1999～2000年度地区ガバナー公式訪問日程(案)について
8. 1999～2000年度地区ガバナー事務所役割分担について
9. G S E (研究グループ交換) について
10. その他
 - ・ 1999～2000年度に採用する制度について
 - ・ 2005年国際万国博覧会について



文庫通信 137 号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料(貸出可)など、1万8千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

職業奉仕に関する資料

- ◎「わかちあう心—職業奉仕卓話集」西村 大治郎 1996 95頁 [申込先 ロータリー文庫]
- ◎「職業奉仕事例集」名古屋港R.C. 1998 56頁 [申込先 名古屋港R.C. TEL (052) 586-2955]
- ◎「ロータリーの引力」森 三郎 福知山西南R.C. 1998 17頁
[申込先 福知山西南R.C. FAX (0773) 24-4462]
- ◎「ロータリーの職業奉仕・十話—職業奉仕委員長さんのために」塚原 房樹 1998 25頁
[申込先 塚原 房樹 TEL (011) 643-4133]
- ◎「ロータリーにおける職業奉仕—職業奉仕シンポジウム」D.2790 1998 60頁 [申込先 ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「職業奉仕委員会事例集」D.2780 1998 100頁 [申込先 D.2780 FAX (0468) 21-5630]
- ◎「職業奉仕論ノート」深川純一 1998 60頁 [申込先 D.2680 FAX (078) 392-8181]
- ◎「"He Profits Most Who Serves Best"について思う」鳴海 淳郎 1998 11頁 [申込先 ロータリー文庫]
- ◎「ロータリーに於ける大乘の道・小乗の道」佐藤千壽 市川東R.C. 1998 39頁
[申込先 市川東R.C. FAX (047) 377-5239]
- ◎「四つのテスト」刈谷R.C. 1998 10頁 [申込先 ロータリー文庫(コピー)]

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

会員数および出席報告

第2760地区

出席報告

平成11年1月分

分 区	クラブ名	出席率	例会数	会 員 数		
				'98年 7月1日	当月	増減
南 尾 張	半田	100	4	71	71	0
	常滑	96.66	3	71	72	1
	東海	97.60	4	59	52	-7
	東知多	94.45	4	71	71	0
	半田南	96.03	4	72	69	-3
	知多	98.43	3	41	44	3
	6RC	97.20		385	379	-6
西 尾 張	一宮	98.30	4	90	90	0
	津島	98.91	3	90	92	2
	尾西	96.80	4	61	63	2
	一宮北	98.73	3	79	79	0
	稲沢	93.56	4	69	68	-1
	あま	98.67	3	101	102	1
	西春日井	100	4	64	63	-1
	尾張中央	100	4	53	54	1
	一宮中央	96.55	4	73	74	1
	9RC	97.95		680	685	5
東 尾 張	瀬戸	100	4	86	86	0
	犬山	100	3	85	89	4
	江南	98.17	4	74	74	0
	小牧	97.58	4	74	75	1
	春日井	100	3	79	82	3
	尾張旭	98.47	3	64	66	2
	名古屋空港	99.22	4	68	68	0
	瀬戸北	98.45	3	69	69	0
	岩倉	94.38	4	41	40	-1
	豊山-城北	99.42	4	55	52	-3
西 名 古 屋	10RC	98.57		695	701	6
	名古屋	94.84	4	217	229	12
	名古屋西	98.20	4	145	152	7
	名古屋南	99.17	4	131	130	-1
	名古屋港	100	3	124	123	-1
	名古屋東南	95.89	4	87	87	0
	名古屋中	98.52	3	163	162	-1
	名古屋瑞穂	98.10	4	100	98	-2
	名古屋大須	97.07	4	96	97	1
	名古屋栄	100	3	81	84	3
	名古屋名駅	97.31	3	109	114	5
	名古屋名南	98.77	3	83	85	2
	名古屋西南	100	4	60	60	0
	12RC	98.16		1,396	1,421	25

分 区	クラブ名	出席率	例会数	会 員 数		
				'98年 7月1日	当月	増減
東 名 古 屋	名古屋北	99.02	3	110	116	6
	名古屋東	96.20	3	110	109	-1
	名古屋守山	96.65	4	81	82	1
	名古屋和合	100	4	113	114	1
	名古屋名東	98.05	4	82	77	-5
	名古屋名北	97.81	3	74	74	0
	名古屋千種	97.35	4	70	71	1
	名古屋昭和	97.65	3	73	74	1
	名古屋錦	96.52	3	66	65	-1
	名古屋東山	100	4	56	57	1
東 三 河	10RC	97.93		835	839	4
	豊橋	98.46	4	126	129	3
	蒲郡	92.98	3	71	73	2
	豊橋北	99.29	4	115	113	-2
	豊川	98.16	4	77	81	4
	田原	100	3	71	72	1
	豊橋南	97.88	3	73	72	-1
	新城	85.00	3	67	65	-2
	渥美	94.76	4	63	65	2
	奥三河	92.38	3	43	41	-2
	豊川宝販	100	3	66	68	2
	豊橋ゴールデン	99.17	3	82	81	-1
	田原シフィック	93.84	4	75	74	-1
	豊橋東	100	4	43	45	2
中 三 河	13RC	96.30		972	979	7
	岡崎	99.24	4	120	116	-4
	豊田	97.91	4	94	88	-6
	岡崎南	99.66	3	109	111	2
	豊田西	97.75	4	101	106	5
	岡崎東	97.70	4	99	104	5
	豊田東	98.89	4	99	96	-3
	岡崎城南	98.97	4	76	75	-1
	豊田三好	97.65	4	35	35	0
	8RC	98.47		733	731	-2
西 三 河	刈谷	100	4	92	100	8
	安城	96.02	3	94	93	-1
	西尾	98.15	4	76	77	1
	碧南	98.36	4	85	84	-1
	一色	99.52	4	51	52	1
	高浜	97.96	3	54	53	-1
	知立	100	4	62	64	2
	西尾KIRARA	100	3	72	71	-1
	8RC	98.75		586	594	8

地域内クラブ数 76RC

'98.7.1会員数 6,282名

増 加 会 員 数 102名

当月末会員数 6,329名

減 少 会 員 数 55名

当月平均出席率 97.92%

差引純増会員数 47名